

第22回 定時社員総会

日 時 令和3年 5月7日（金曜日）午後6時00分

会 場 成島北区民会館

群馬県館林市北成島町 2881-2

議 事

1) 議長の選出

2) 議事録署名人の選出

3) 議 題

第1号議案 令和2年度事業報告

令和2年度決算報告

監査報告

第2号議案 令和3年度事業計画

令和3年度活動予算

第3号議案 役員変更の件

第4号議案 コロナ緊急対策融資について

4) その他

特定非営利活動法人お互いさまネットワーク

群馬県館林市北成島町1829-5 ☎0276-70-1326

ホームページ <http://otagaisamaegao.net/>

| | | | | | |
|--------|---|--|--|----|-----------------|
| 職 員 | 令和3年3月31日現在 | 正職員 | パート | 計 | 備 考 |
| | 管理事務 | 1 | 1 | 2 | 必要に応じて職員の増加を図る。 |
| | 支え合い活動 | 1 | 0 | 1 | |
| | よってこ・だんだん | 0 | 0 | 0 | |
| | グループホーム喜楽・喜楽Ⅱ | 10 | 11 | 21 | |
| | デイサービスセンター喜楽 | 4 | 4 | 8 | |
| | 多機能ケアの喜楽 | 8 | 13 | 21 | |
| | 訪問記額の喜楽 | 3 | 4 | 7 | |
| | ケアプラン介護相談の喜楽 | 4 | 1 | 5 | |
| | 地域密着デイの喜楽 | 5 | 1 | 6 | |
| 計 | 36 | 35 | 71 | | |
| 法人役員 | 理事長 恩田 初男 副理事長 増田実保子 監事 赤坂 一郎 | 理事 鴫田富美夫 理事 佐藤 富代 理事 大沼 節子 | 理事 原島 秀克 理事 陶山 典子 理事 曾根 勝 (成島北区長 職) | | |
| 部 署 | 目 標 | 成 果 | 摘 要 | | |
| 法人全体 | ①活動開始20年のイベントの企画・実施 ②長期目標から新たな活動の検討 ③多様な介護サービスできる人材の育成 各事業所間で職員交換研修を実施する。 ④法人の安定経営の検討 | 令和2年9月13日(日) 13:00~15:30 於:館林市文化会館小ホール 新事業所立上げ 3月1日より 「地域密着デイの喜楽」 運営開始 交換研修はできなかった。 | (2000年9月1日グループホーム運営開始以来20年の歩み紹介) スライド上映&講演 参加者70名 講演者NHK解説委員飯野奈津子氏 契約利用者3月31日現在 13名 | | |
| 支え合い活動 | 理念「会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す。」 | | | | |
| | ① 協力会員 28名 利用会員 150名 チケット販売目標 900円券3,500枚 450円券1,700枚 500円券5,500枚 100円券6,000枚 | ① 協力会員 26名 利用会員 158名 チケット販売実績 900円券 2,532枚 450円券 1,546枚 500円券 4,935枚 100円券 5,309枚 | チケット販売は実績は コロナ禍により目標を達成せず ⇒ 72% ⇒ 91% ⇒ 90% ⇒ 88% | | |
| | ② 全員参加で支え合う。 (活動の場の提供) | 協力者と利用者の年齢が近くなりマッチングが困難になるケースも否めない。 | ⇒ 70%程度 協力者が遠くまでの運転を躊躇して、交代が不足するなど。 | | |
| | ③次期コーディネーターの人选 (検討を始める) | 人選を考えてみたが、個人的な事情で、暗礁に乗り上げたままになっている。 | 白紙とはいかないまでも、課題としては平行線になっている。 | | |

| 部 署 | 目 標 | 成 果 | 摘 要 |
|-------------------------|--|---|--|
| 地域の居場所 よってこ松沼 | 理念「人とつながりをつくり笑顔になれるところです。」 ① 美味しく食べて健康になれる居場所になる ② 営業日には必ず 10 分間体操を行う ③ 地域との交流を深めるための接点を探す活動をする。 新型コロナウイルス感染予防対策で、人と人との交流をひかえたため、目的は達成できなかった。7 月（月・火・木・金）11 月 12 月（火・木の午後 2 時まで）のみ営業 | | |
| カフェ だんだん | 理念「カフェだんだんは、心ゆたかな生活を支える出会いと情報のかけ橋です。」 令和 2 年 2 月に活動を休止。 本年度以降の活動開始予定なし | 本年度カフェだんだんの 施設・設備は閉鎖 | 施設・設備は 支え合い活動と訪問 介護の事務所として使用している。 |
| グループホーム 喜楽の事業 | 理念「地域社会の中で人とのつながりを大切にし、その人らしくあなたと共に暮らします。」 ① 研修内容が定着できるように勉強会をする。 ② ケアプランの確実な実施 | 職員会議で、統一する介護技術 内容の勉強会をした。 毎日 リーダーが実施できる よう割り振りして行っている。 | 全課程を終えることが出来た。 毎日続ける事により、お年寄りがい きいき生活している。 |
| デイサービス センター喜楽 の事業 | 理念「デイ喜楽は、楽しみをもってゆっくり過ごす、あなたのもう一つの家です。」 ① 一人ひとりの力を信じ生きがいを見つける。 ② 学習会を定期的にする。 ③ 安定した利用者の確保 (1 日平均 9.5 人) | 利用者さんの話をうまく聞き 出すことができなかった。 定期的ではなかったが学習会 は出来た。 一日平均 9.58 人で目標達成 できた。 | 日常業務の中に入れられなかった。 学習会により再確認できた。 引き続き努力していきたい。 |
| 多機能ケアの 喜楽の事業 | 理念「一人ひとりが主人公 ① 職員の体調を整え、心に 余裕を持って利用者の支援 を行う。 ② 利用者の笑顔を増やす。 ③ 利用登録者の獲得 (年平均 24 名以上) | 私たちは、あなたらしい生活を地域の中で、ご家族と共に柔軟に支えます。」 ・ほとんどの職員が元気に職務 に着けた。落ち着かない利用 者に添う支援の時、心の余裕 が持てない時が少々あった。 ・場を和ませる関わりをし、笑 顔になれる工夫を実践した。 ・新年度 4 月 1 日に利用開始 になった利用者を含めると 達成！ | ・コロナやインフルエンザにかから ず頑張れた。 ・自己管理ができていない人と、出来 ていない人がいる。 ・笑顔が難しい利用者にとどのよう にかかわるか課題である。 ・利用形態を工夫する必要がある。 ・短期利用（ショートステイ）の 利用の届出をした。 |
| 地域密着デイ の喜楽 | 理念「私たちは、本人と家族が安心して自宅生活を続けられるよう支援します。」 3月1日から事業開始。 この1か月の目標は、 契約利用者を獲得する。 「利用者さまに笑顔で対応す る。」 | 笑顔の対応により 緊張もとけ、笑顔を返して下さ るようになった。 | 笑顔で接することは出来たが、 声のトーンなどおだやかな接し方 には、まだまだ工夫の余地がある。 |

| | | | |
|--------------------------------|---|--|--|
| 訪問介護の 喜樂の事業 | 理念「私たちは「笑顔」「安心」「生きる気力」を届けます。 | | |
| | ① 統一した良いサービスができるよう介護技術の復習を行う。 ② 効率よく仕事がすすめられるよう業務を改善する。 | 3カ月の一度学習会で介護技術の復習を行った。 事務所移転に伴いファイル等を整理し見やすく配置した。 | 常に身体介護を行っているスタッフばかりでなく一緒に復習を行い、利用者さんへの対応を確認。 手書きだった書類もパソコン入力に変更できた。 |
| ケアプラン介 護相談の喜樂 の事業 | 理念「介護に係る相談を提供することで地域に貢献する。」 | | |
| | ① 課題整理総括表を活用することで、地域の貢献する。 | 新年度に入った当初は会議等で意見交換し合ったが忙しさにまぎれ確認も記入も少なくなった。 | 今年も継続し利用者のニーズを引き出すため、改めて課題整理総括表を活用していきたい。 |
| | ② 地域や行政のインフォーマルサービスを有効活用する。 | 通院介助を支え合い活動の利用につなげることにし、ケアマネの負担が軽減した。 地域ケア会議の開催により、行政や民生委員との連携が密になった。 | 今後も引き続き、密に連携を取っていく。 |
| ③ 要介護者 100 件、要支援利用者 50 件を確保する。 | 3月の実績 要介護者 101 件、要支援者 50 件となった。 年度平均 要介護 95.3 件 要支援者 50.3 件で目標を達成。 | 引き続き利用者の確保につとめ、支援に力を入れていきたい。 | |

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施 日時 | 実施 場所 | 従事者 の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 |
|------------------|---|--|-----------------------|-------------------------|--|
| 支え合い活動 | 日常生活で誰かの手助けが欲しい時、会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す活動です。 | 活動日数 357日 延べ活動 回数 3,421回 | 利用者の 自宅他 | 延べ活動者 数3,540人 | 何らかの理由で日常生活で 困っている人延べ利用者数 3,437人 |
| 地域の居場所 よってこ松沼 | 地域の人がだれでも気軽に来られ、親しく笑顔になれる交流の場として居場所を提 供。今年度は、新型コロナ感染予防のため、大半の日時の休業を余儀なくされた。 7月週4日 11月12月週2日のみ営業 | 計29日 行い、 11月12 月は昼食 時のみ営 業した。 | 館林松沼町 「よって こ松沼」 | 担当理事2名 スタッフ 延べ94人 | 地域の居場所 延べ 来所者399人 営業日数合計 29日で 1日平均13.8人 |

| | | | | | |
|---------------------------------------|--|--|------------------------------|---|--|
| グループホーム 喜楽の事業 | 介護保険において認知症の人へ共同生活 住居において、介護や生活支援サービスを 提供し、地域との繋がりを大切に喜び と安らぎを持って生活してもらう事業 | 365日 24時間 | グループ ホーム喜 楽・喜楽 Ⅱ | 管理者1名 看護師1名 正職介護職 員 10名 パート介護 職員13名 計 25名 | 認知症のため自宅での生活 が困難な人 喜楽 9名 喜楽Ⅱ 9名 共用デイ 6名 計 24名 |
| デイサービス 事業 | 介護保険において認知症の人の自宅での 生活を支えるための通いで介護サービ ス事業 | 328日 10月から 日曜日休業 及び 12/30か ら1/2休み | デイサー ビスセン ター喜楽 | 管理者1名 正職介護職 員 3名 パート介護 職員 4名 計 8名 | 館林在住で認知症のある方 契約者30名 延べ利用者数3131名 1日平均 9.58名 |
| 多機能ケアの 喜楽の事業 | 利用者個別の利用の仕方に対応し、通所・ 訪問・ショートステイを組み合わせた支援 を行う。地域連携として、民生委員、医療 機関、利用者がよく行く店や食堂、地域の 住民と連絡を取り合っている。 | 365日 オープン 日以来休 業日無し | 通所、泊 り訪問を 組み合わ せた利用 | 管理者1名 正職員7名 パート10 名 計18名 | 柔軟な利用に対応するため 職員の増員を含め、配置を考 えていく。 契約者数 24名 |
| 地域密着デイ の喜楽 | 介護保険において自宅での生活を支える ため通いで介護サービスを行う事業 | R.3 3/1より 23日 日曜日休業 及び 12/30か ら1/2休み | 地域密着 デイの 喜楽 | 管理者1名 正職介護職 員 5名 看護師兼務1 パート介護 職員1名 計 6名 | 3月末日時点の実績 契約人数 13名 延べ利用者数 66名 1日平均 2.4名 |
| 訪問介護事業 | 介護保険において自宅での生活を支える ために訪問して介護・家事援助を行う事業 | 365日 | 利用者の 自宅に訪 問 | 管理者1名 正職員2名 パート介護 職員 4名 計7名 | 自宅で介護・家事援助の必要 な方 利用者数 52名 介護31名 予防21名 |
| ケアプラン介 護相談事業 | 介護保険において自宅での生活を支える ために必要な介護サービスの提供を利用 者等と相談し、サービスの提供を支援調整 する事業 | 365日 | ケアプラ ン介護相 談の喜楽 事務所 | 管理者1名 介護支援専 門員 5名 計 6名 | 介護サービスが必要な方 利用者数 151名 要介護 101名 要支援 50名 |
| 関連事業 ・認知症の人と家 族の会「家族の つどい」事業 | 公益社団法人認知症の人と家族の会が開 催する「家族のつどい」東毛地域を担当し た。認知症の人を介護している家族等の交 流を開催。家族の悩みや困り事を共有する ことによって介護負担の軽減を図る。 | 10回 開催 | 太田 館林 伊勢崎 桐生 | 世話人 延べ 名 | 認知症の人を介護している 家族等 延べ参加者約 名 |

| | | | | | |
|-----------------------|--|---|------------|----------------|------------------------------|
| 生活支援体制整備事業勉強会・協議体会議参加 | 県及び東毛地区の各自治体が開催する勉強会に5回参加した。 | | | | 介護予防、日常生活支援総合事業への移行について検討した。 |
| 会報の発行 | 年3回会報を発行して活動の内容を広報している。40号は多々良地区近隣にミニカレンダーと共に4500部のポスティングを行った。 | 年3回 | 700部印刷 | 会員・サービス利用者等に配布 | |
| | | 発行日 | 令和2年 7月25日 | 2年11月25日 | 3年 3月25日 |
| | | | 39号 | 40号 | 41号 |
| | | | (700部) | (4500部) | (700部) |
| ホームページ | 最新情報を日々入力し、毎月15日には、部門ごとにブログを更新するよう努めた。求人情報も適時更新している。 | http://otagaisamaegao.net/ | | | |

(2) 収益事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 |
|-----|-------------------|------|------|--------|
| | 収益事業の実施はありませんでした。 | | | |

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

第21回定時社員総会の開催

- ・日時 令和2年5月8日(金曜日) 午後6時00分～7時30分
- ・会場 NPO法人お互いさまネットワーク 講習室
- ・議題 第1号議案 令和元年度事業報告・収支報告 監査報告
第2号議案 令和2年度事業計画・収支予算
第3号議案 役員変更の件
- ・その他

(2) 理事会

事業計画に基づき事業の進捗状況や事業に対する意見や検討を行っています。
理事会はデイサービスセンター喜楽を会場とし19時～21時で開催しました。

| | 開催日 | 主な会議の内容 |
|-----|----------|--------------------------------------|
| 第1回 | 2年 6月19日 | 新型コロナウイルス対応 活動開始20年のイベント等企画 |
| 第2回 | 2年 7月17日 | 令和2年度法人目標・法人の安定経営の戦略 |
| 第3回 | 2年 8月21日 | 「地域密着デイサービス」提案 カフェだんだん閉鎖 |
| 第4回 | 2年 9月18日 | 活動開始20年のイベント報告 カフェスペースを訪問介護&支え合い事務所に |
| 第5回 | 2年10月16日 | 法人安定経営の検討(収入増を目指す) 職員不足の対応 |
| 第6回 | 2年11月20日 | 職員面談の報告 新事業「地域密着デイ」3月1日開設予定決定 |
| 第7回 | 3年 1月15日 | 新型コロナ「緊急包括支援金」申請の件 予算実績中間報告 |
| 第8回 | 3年 2月19日 | ミャンマーからの留学生採用予定の件 地域密着デイ準備報告 |
| 第9回 | 3年 3月19日 | 「地域密着デイの喜楽」オープン報告 次年度への展望 |

(3) 責任者会議

- ①行事予定や各部署での課題を担当責任者で共有し、意思統一と部署間の情報共有の会議を行った。
毎月第1火曜日・14時00分～15時00分 年間12回開催

(4) 支え合い活動

- ①協力会員総会報告会 ②協力会員懇談会 コロナ禍により中止

(5) 「よってこ松沼」

- ①運営検討会 今年度は実施できませんでした。
- ②スタッフ会議

キッチンスタッフ・デスタッフによる毎月行事予定、メニューなどの検討を行いますが、本年度は新型コロナ感染予防対策が中心の話し合いでした。

| | 開催日 | 内 容 |
|--|---------------|----------------------------|
| 第1回 | 令和3年4月27日(月) | 新型コロナ対応でのオープンの検討 |
| 第2回 | 令和3年6月25日(月) | 感染対策とパーテーション作成で7月営業決定 |
| 7月の営業期間中を通して、来場者が、会話・歌の自粛が出来ていない等の反省があり、8月9日の営業自粛決定(LINE会議で) | | |
| 第3回 | 令和3年9月25日(金) | 10月も休みにすることを決定 |
| 第4回 | 令和3年10月26日(月) | 11月・12月は火と木の午後2時までの短縮営業を決定 |
| 第5回 | 令和3年12月25日(金) | スタッフで大掃除後、今年度の営業休止を決定 |

- ③ 広報活動 松沼町のすべての世帯に配布お願いしていた「よってこ松沼イベント情報」は休止

(7) グループホーム喜楽

①運営推進会議

グループホームが閉鎖的にならないよう地域の方、ご家族、行政職員等で運営を検討しています。

| 開催日 | R2.5.25 | R2.7.28 | R2.9.23 | R2.11.25 | R3.1.26 | R3.3.23 |
|-----|---------|---------|---------|----------|---------|---------|
| | 書面にて | | | | 書面にて | |

②家族会

例年は、GH喜楽・喜楽Ⅱにおいて年2回家族会を開催し、情報交換と家族間の交流を行っていましたが、今年度は開催せずに要望書を送り、ご意見を伺いました。

③職員会議・ケアプラン会議を各々月1回、木曜日20時00分より開催しています。

| | 職員会議 | ケアプラン会議 |
|------------|-------|---------|
| グループホーム喜楽 | 12回開催 | 12回開催 |
| グループホーム喜楽Ⅱ | 12回開催 | 12回開催 |

④避難訓練

- ・消防署の立ち会いの下での訓練(今年度は年1回)

| 実施日 | 内 容 |
|------------|------------------|
| 令和2年11月28日 | グループホーム喜楽 夜間想定訓練 |

- ・自主避難訓練 毎月グループホームで夜間想定、他の部署では昼間の火災想定で実施

| 実施日 | 実施日 | 実施日 | 実施日 | 実施日 |
|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| R2年4月中止 | R2年5月23日 | R2年7月25日 | R2年8月22日 | R2年9月26日 |
| R2年11月28日 | R2年12月26日 | R3年1月中止 | R3年2月中止 | R3年3月27日 |

(8) デイサービスセンター喜楽

- ①家族のつどい 今年度は顔を合わせての会合が出来なかったため、アンケートを取りご意見を伺った。大変良い評価を頂いた。
- ②春と秋の観光行事は、外出自粛のため実施できなかった。
- ③職員会議 毎月1回・・・12回
- ④運営推進会議 7月28日 1月26日

(9) 多機能ケアの喜楽

- ① 職員会議 毎月1回 12回
- ③ 家族会 8月に計画したが、コロナのため中止し家族に対しアンケート実施。
- ④ 運営推進会議 グループホームと合同で開催 年6回 (書面にて開催)

| | | | | |
|----------|-------|-------|----------|-------|
| R2年5月26日 | 7月28日 | 9月23日 | R3年1月26日 | 3月23日 |
|----------|-------|-------|----------|-------|

(10) 地域密着デイの喜楽 (3月開設以来1か月)

- ① 職員会議 毎月1回 計1回
その他 日々時間の調整をしながら、スムーズな運営のための会議を行いました。

(11) 訪問介護の喜楽

- ① サービス内容検討会 利用者に関わる訪問員どうして支援内容を検討しサービス向上に繋げる。

| | | | | |
|-----|----------|---------|----------|----------|
| 開催日 | R2年6月10日 | R2年9月9日 | R3年1月13日 | R3年3月11日 |
|-----|----------|---------|----------|----------|

- ② 職員会議 利用者サービスのモニタリングと状況確認・日程等を調整する。18時～20時で開催

| | 開催日 | | 開催日 |
|-----|----------|------|-----------|
| 第1回 | R2年7月24日 | 第7回 | R2年10月28日 |
| 第2回 | R2年5月28日 | 第8回 | R2年11月25日 |
| 第3回 | R2年6月24日 | 第9回 | R2年12月22日 |
| 第4回 | R2年7月29日 | 第10回 | R3年1月26日 |
| 第5回 | R2年8月26日 | 第11回 | R3年2月24日 |
| 第6回 | R2年9月24日 | 第12回 | R3年3月30日 |

(12) ケアプラン介護相談の喜楽

- ・地域個別ケア会議 1回開催
「日常生活が困難な方の生活改善について」行政、医療機関、関係機関とともに検討しました。
- ・認知症初期集中チーム調整会議 1回開催
「夫婦ともに認知症で、子供たちが関わりを拒否している事例」
行政、医療機関、関係機関とともに検討し、担当ケアマネとして関わりました。
- ・職員会議 毎月5日前後 16～18時 12回開催
- ・定例会議 毎週金曜日 全利用者を全職員が理解するために情報共有しています。

(13) ボランティア慰問

本年度は新型コロナウイルス感染拡大により、ボランティア慰問はすべて中止になりました。